

平成24年度 第2回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概要>

前回調査では持ち直しの傾向が見られたものの、今回の調査では、受注余力を除く全項目でD I値の前期差がマイナスとなっており、悪化の傾向。

<今回調査の特徴>

- 受注量：全業種でD I値低下。特に、鉄鋼・非鉄、輸送用機器で「減少」が顕著。
- 受注見通し：輸送用機器では引き続き厳しい見通し。
- 受注単価：精密機器では50.0%が「低下」。
- 資金繰り：鉄鋼・非鉄、樹脂製品でやや改善。
- 採算状況：輸送用機器では半数超が「赤字」
- 受注余力：8割超が「余力あり」

(平成24年9月末現在)

公益財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	30企業	② 金属製品関係	45企業
③ 一般機器関係	45企業	④ 電気機器関係	45企業
⑤ 輸送用機器関係	30企業	⑥ 精密機器関係	30企業
⑦ 縫製関係	45企業	⑧ 樹脂製品関係	30企業

(3) 調査時点

平成24年9月30日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

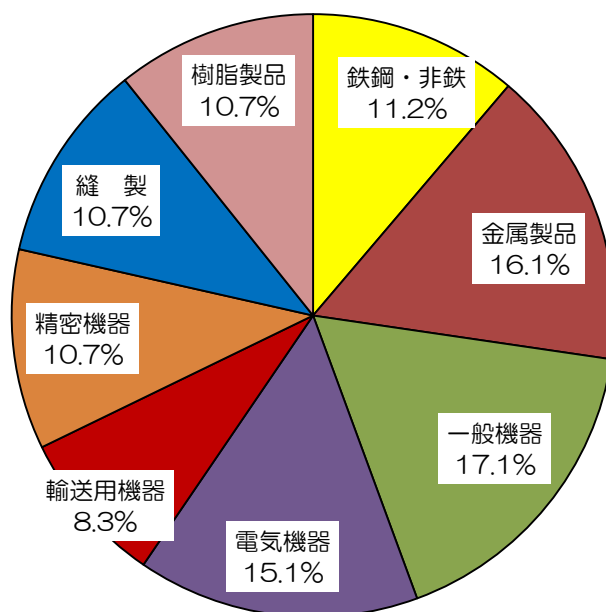
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力

(5) 回収状況

① 調査対象企業数	300 企業		
② 回収企業	205 企業		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	23 企業	(11.2%)
	金属製品関係	33 企業	(16.1%)
	一般機器関係	35 企業	(17.1%)
	電気機器関係	31 企業	(15.1%)
	輸送用機器関係	17 企業	(8.3%)
	精密機器関係	22 企業	(10.7%)
	縫製関係	22 企業	(10.7%)
	樹脂製品関係	22 企業	(10.7%)
④ 回収率	68.3 %		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
個人	15 7.3%	1 4.3%			1 3.2%	1 5.9%	1 4.5%	10 45.5%	1 4.5%
~300万円	14 6.8%	2 8.7%	2 6.1%		2 6.5%	2 11.8%	1 4.5%	3 13.6%	2 9.1%
301~999万円	7 3.4%		1 3.0%			1 5.9%	1 4.5%	2 9.1%	2 9.1%
1000~2000万円	114 55.6%	12 52.2%	25 75.8%	22 62.9%	19 61.3%	5 29.4%	11 50.0%	7 31.8%	13 59.1%
2001~5000万円	41 20.0%	5 21.7%	5 15.2%	11 31.4%	7 22.6%	5 29.4%	5 22.7%		3 13.6%
5000万円超	14 6.8%	3 13.0%		2 5.7%	2 6.5%	3 17.6%	3 13.6%		1 4.5%
合 計	205 100%	23 100%	33 100%	35 100%	31 100%	17 100%	22 100%	22 100%	22 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

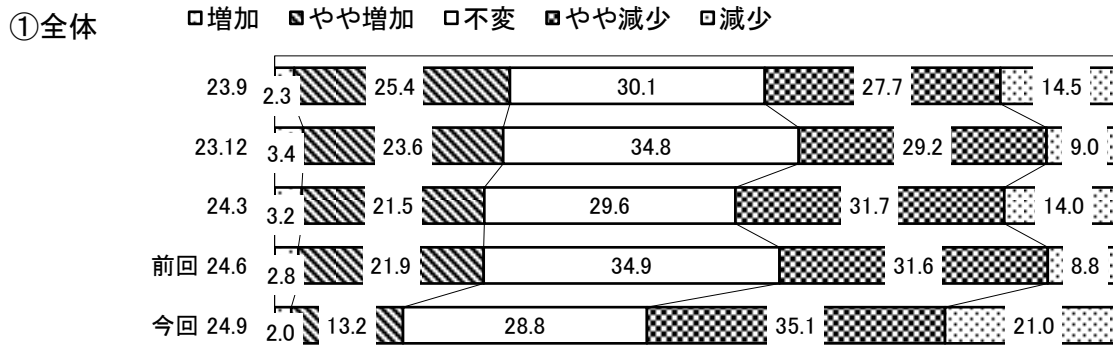
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
1~5人	33 16.1%	4 17.4%	1 3.0%	3 8.6%	4 12.9%	4 23.5%		12 54.5%	5 22.7%
6~10人	20 9.8%	4 17.4%	3 9.1%	1 2.9%	3 9.7%	1 5.9%	4 18.2%	3 13.6%	1 4.5%
11~20人	54 26.3%	3 13.0%	14 42.4%	14 40.0%	6 19.4%	3 17.6%	6 27.3%	3 13.6%	5 22.7%
21~30人	27 13.2%	2 8.7%	6 18.2%	6 17.1%	3 9.7%	1 5.9%	4 18.2%	2 9.1%	3 13.6%
31~50人	27 13.2%	4 17.4%	4 12.1%	6 17.1%	5 16.1%	2 11.8%	3 13.6%	1 4.5%	2 9.1%
51人以上	44 21.5%	6 26.1%	5 15.2%	5 14.3%	10 32.3%	6 35.3%	5 22.7%	1 4.5%	6 27.3%
合 計	205 100%	23 100%	33 100%	35 100%	31 100%	17 100%	22 100%	22 100%	22 100%

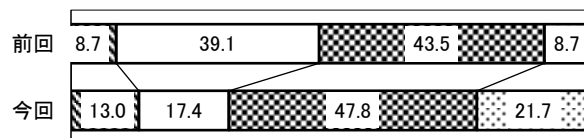
3. 調査結果

(1) 受注量について

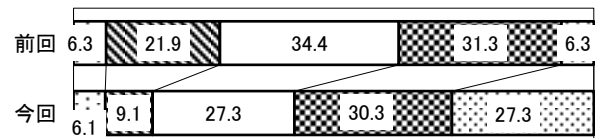
(%)



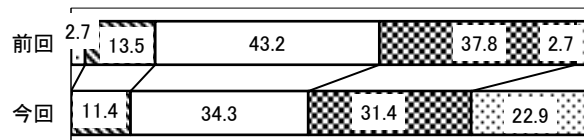
②鉄鋼・非鉄



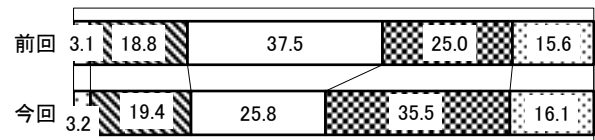
③金属製品



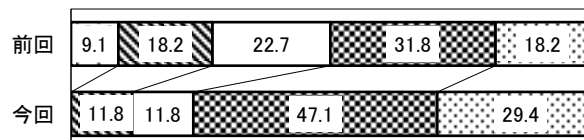
④一般機器



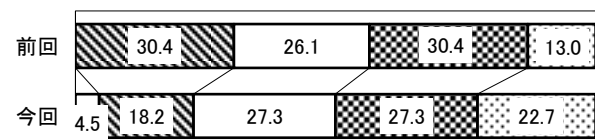
⑤電気機器



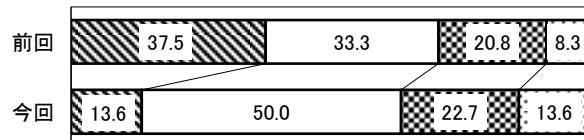
⑥輸送用機器



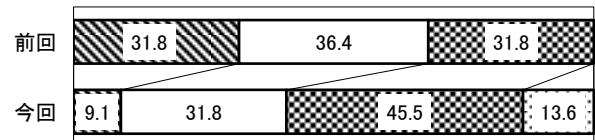
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

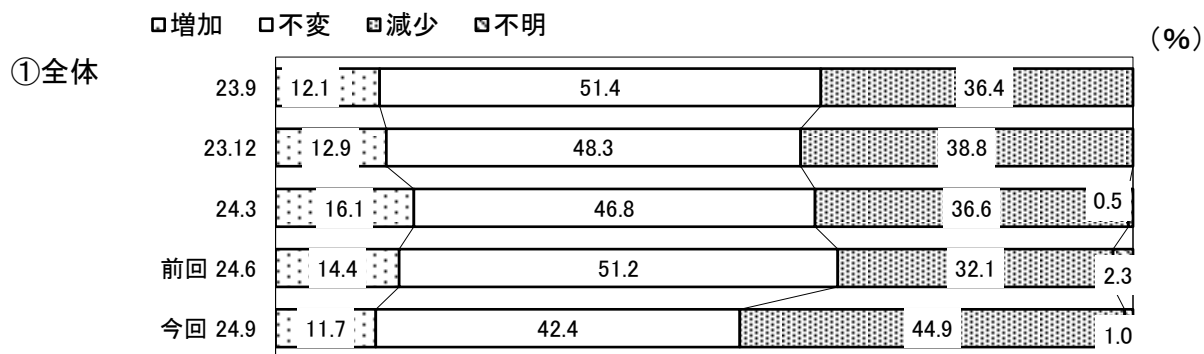
7月～9月期の全体の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業割合を差し引いた数値）は△40.9となり、前期（4月～6月）に比べ△25.2ポイントと、悪化の傾向が見られる。

○業種別

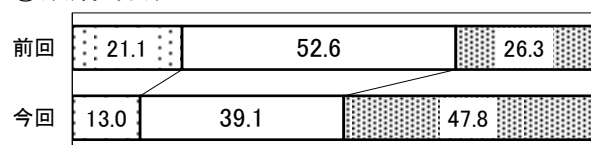
業種別D Iでは、全業種でマイナスとなっており、中でも、鉄鋼・非鉄で△56.5（前期比13.0ポイント低下）、金属製品で△42.4（前期比33.0ポイント低下）、一般機器で△42.9（前期比18.6ポイント低下）、輸送用機器で△64.7（前期比42.0ポイント低下）、樹脂製品で△50.0（前期差50.0ポイント低下）と大きく悪化がみられる。

前回調査で改善がみられた縫製も、今回は△22.7（前期比31.1ポイント低下）と再び悪化がみられる。

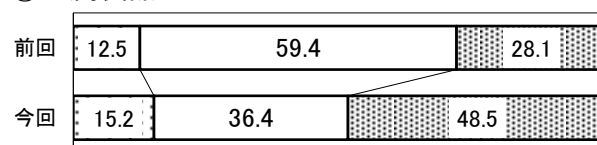
(2) 受注量の見通しについて



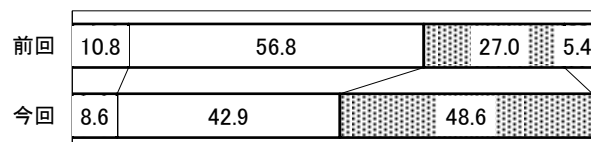
②鉄鋼・非鉄



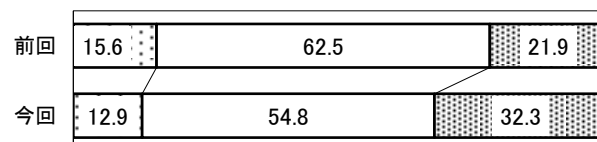
③金属製品



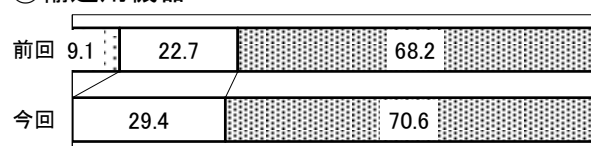
④一般機器



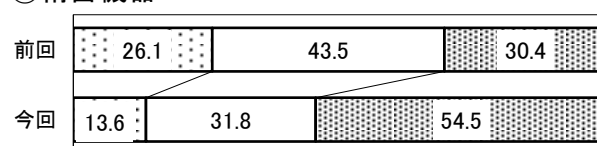
⑤電気機器



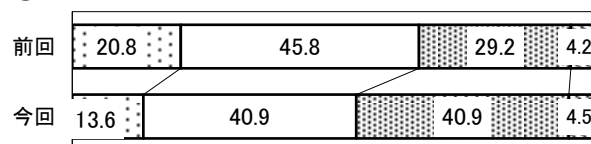
⑥輸送用機器



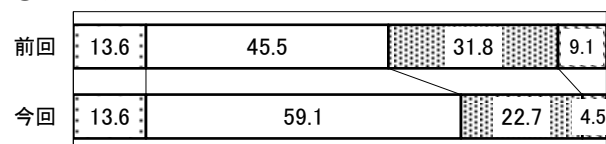
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

次期（10月～12月期）受注量見通しの全体の業況判断D I（「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた数値）は△33.2となり、前期（4月～6月）に比べ△15.5ポイントと悪化の見通しとなっている。

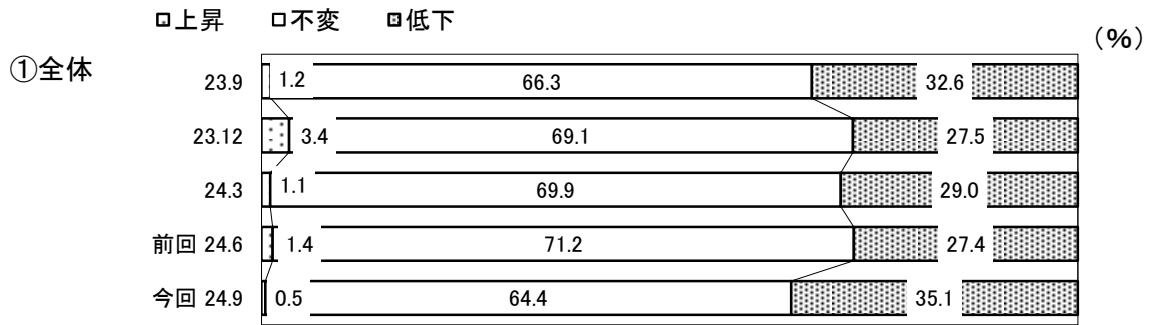
○業種別

業種別D Iは、鉄鋼・非鉄で△34.8（前期差29.6ポイント低下）、金属製品で△33.3（前期差17.7ポイント低下）、一般機器で△40.0（前期差23.8ポイント低下）、輸送用機器で△70.6（前期差11.5ポイント低下）、精密機器で△40.9（前期差36.6ポイント低下）と大きく悪化がみられる。

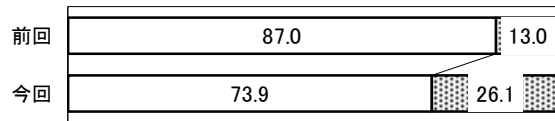
特に受注量が大きく減少した輸送用機器では、7割超が今後の見通しも「減少」としており、引き続き厳しい見込みとなっている。

樹脂製品では、「増加」の数値に変化はないものの、△9.1（前期差9.1ポイント上昇）と、唯一プラスとなっている。

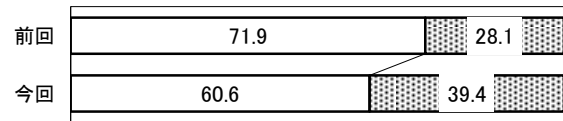
(3) 受注単価について



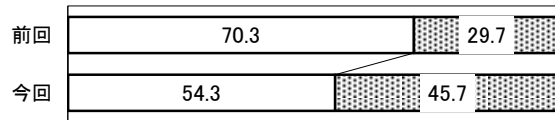
②鉄鋼・非鉄



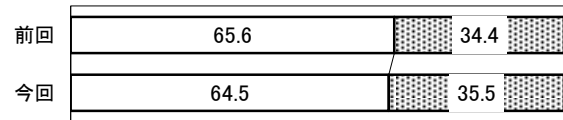
③金属製品



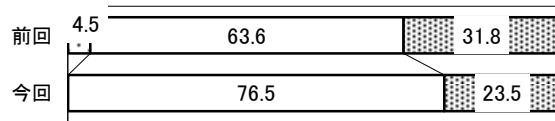
④一般機器



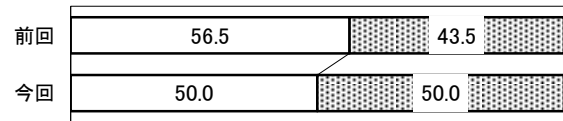
⑤電気機器



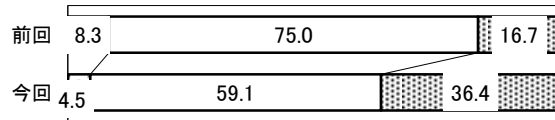
⑥輸送用機器



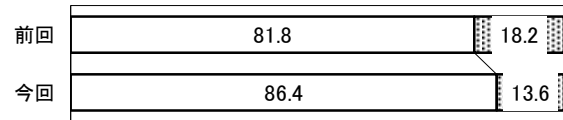
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

7月～9月期の全体の業況判断DI（「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた数値）は△34.6とマイナス幅が拡大し、前期（4月～6月）に比べ△8.6ポイントと、悪化が見られる。

○業種別

業種別DIは、金属製品で△39.4（前期差11.3ポイント低下）、一般機器で△45.7（前期差16.0ポイント低下）、精密機器で△50.0（前期差6.5ポイント低下）と大きく悪化がみられる。縫製では唯一「上昇」とする回答があったものの、全体としては△31.9（前期差23.5ポイント低下）とマイナス幅が拡大し、悪化がみられる。

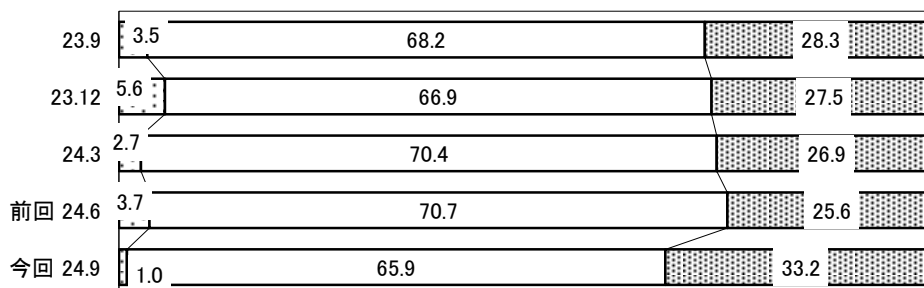
一方で、輸送用機器で△23.5（前期差3.8ポイント上昇）、樹脂製品で△13.6（前期差4.6ポイント上昇）と前期比でマイナス幅が縮小し若干の改善がみられる。

(4) 資金繰りについて

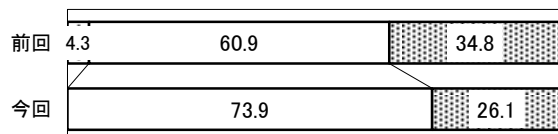
(%)

①全体

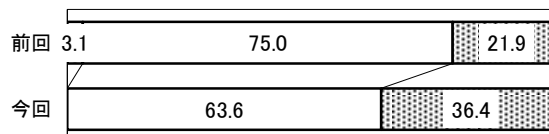
□好転 □不変 □悪化



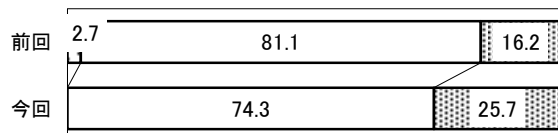
②鉄鋼・非鉄



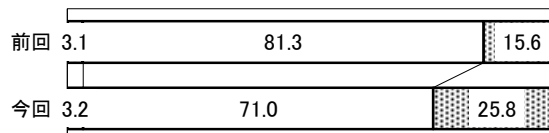
③金属製品



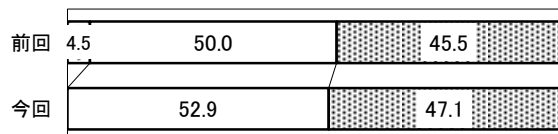
④一般機器



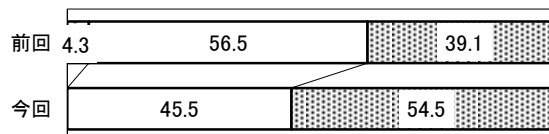
⑤電気機器



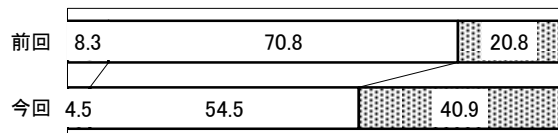
⑥輸送用機器



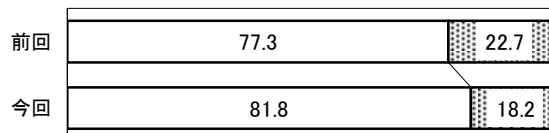
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

7月～9月期の全体の業況判断DI（「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた数値）は△32.2となり、マイナス幅が拡大。前期（4月～6月）に比べ、△10.3ポイントと、悪化が見られる。

○業種別

業種別DIは、金属製品で△36.4（前期差17.6ポイント低下）、輸送用機器で△47.1（前期差6.1ポイント低下）、精密機器で△54.5（前期差19.7ポイント低下）、縫製で△36.4（前期差23.9ポイント低下）と、マイナス幅が拡大し、悪化が見られる。

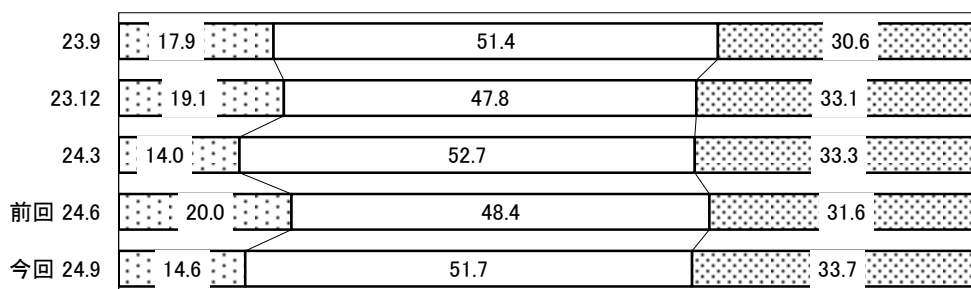
一方、鉄鋼・非鉄では△26.1（前期差4.4ポイント上昇）、樹脂製品でも△18.2（前期差4.5ポイント上昇）と、若干ながらマイナス幅が縮小し、改善が見られる。

(5) 採算状況について

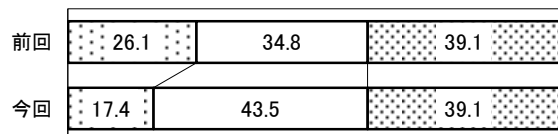
(%)

①全体

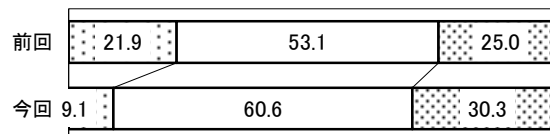
□黒字 □収支トントン □赤字



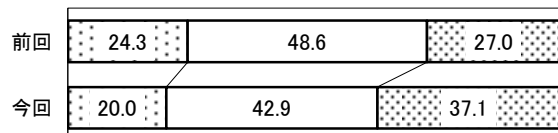
②鉄鋼・非鉄



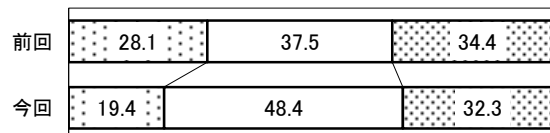
③金属製品



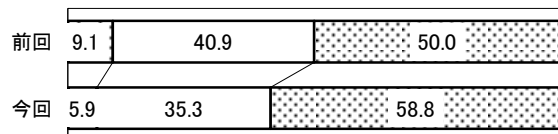
④一般機器



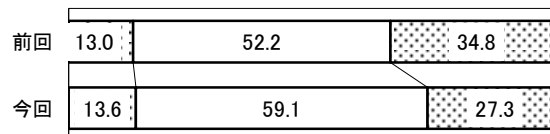
⑤電気機器



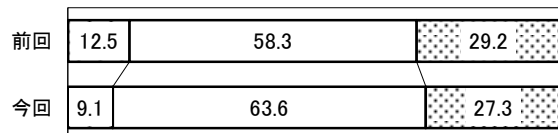
⑥輸送用機器



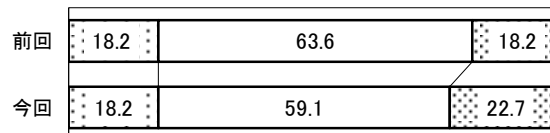
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

7月～9月期の全体の業況判断DI（「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた数値）は△19.1となり、マイナス幅が拡大し、前期（4～6月）に比べ、△7.5ポイントと、悪化が見られる。

○業種別

業種別DIは、輸送用機器で△52.9（前期差12.0ポイント低下）と前回同様最も厳しく、半数を超える企業が「赤字」としている。

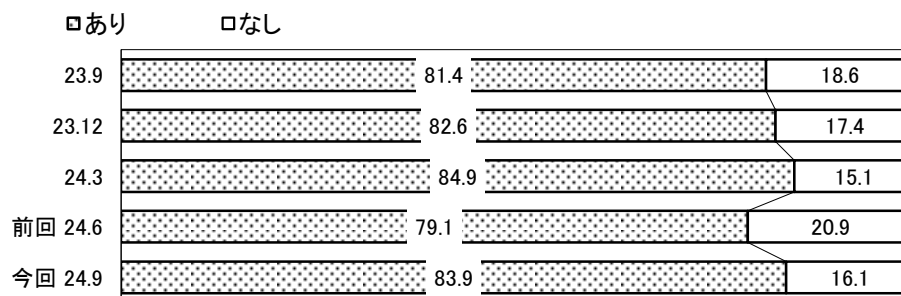
また、鉄鋼・非鉄でも△21.7（前期差8.7ポイント低下）、金属製品で△21.2（前期差18.1ポイント低下）と、悪化がみられる。

一方、精密機器で△13.7（前期差8.1ポイント上昇）と、やや改善が見られる。

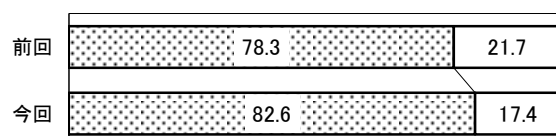
(6) 受注余力について

(%)

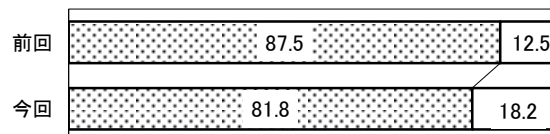
①全体



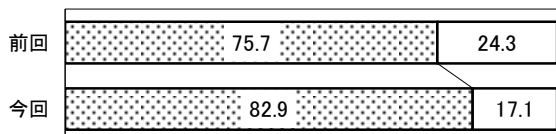
②鉄鋼・非鉄



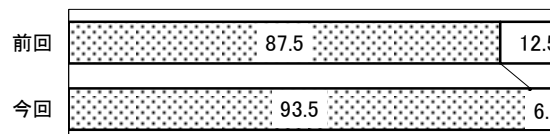
③金属製品



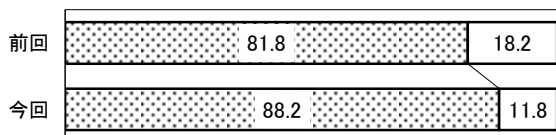
④一般機器



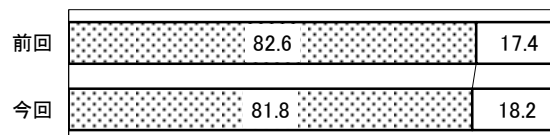
⑤電気機器



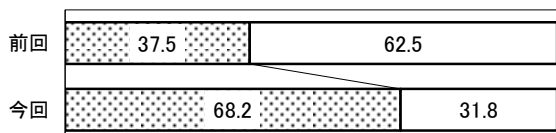
⑥輸送用機器



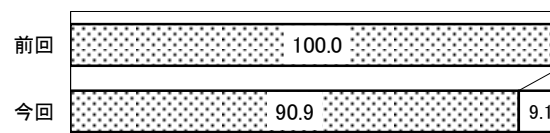
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

受注量の動きに伴い、「受注余力あり」とする企業は83.9%と前期に比べて4.8ポイント増えた。

○業種別

縫製では、前回調査で6割を超える企業が「受注余力なし」との回答であったが、今回は逆に「受注余力あり」が68.2%（前期比30.7ポイント増）と大幅に増加した。



公益財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-9234 FAX (075) 315-9240

E-mail: office@ki21.jp

U R L : <http://www.ki21.jp>